

# まき 倶楽部

2020  
冬  
Winter



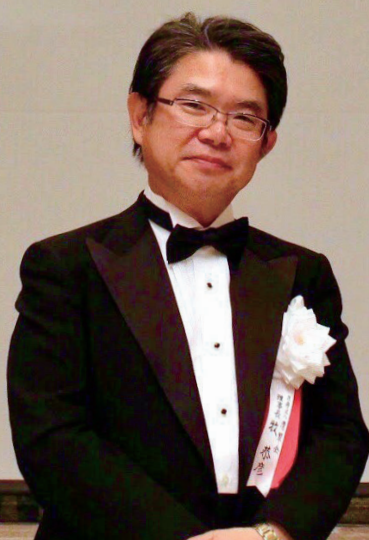
トピックス

理事長 牧 恭彦  
令和2年 年頭所感

vol.120

50<sup>th</sup>

牧ヘルスケアグループ  
創立50周年記念祝賀パーティー



- ◎スポーツ整形外科の専門医が入職しました  
東京オリンピックテスト大会をサポート／牧整形外科病院
- ◎心不全における終末期医療  
ご意見回答・患者満足度調査結果・AED設置／牧病院
- ◎医師のご紹介  
牧 淳彦顧問 泰永 募副院長／牧リハビリテーション病院
- ◎かるがもの会／おとしよりすこやかセンター北部館
- ◎秋のイベントご紹介  
まきオリンピック・ハロウィンカフェ／まきデイサービスセンター



## 年頭所感

牧ヘルスケアグループ 理事長 牧 恭彦 (まき やすひこ)

新年あけましておめでとうございます。

昨年、牧ヘルスケアグループは創立50周年を迎え、11月30日に38名の来賓、485名の職員とともに祝賀パーティーを執り行いました。これもひとえに支えてくださる地域の皆様、医療機関をはじめとする関係各位のおかげであり、深く感謝しております。先代理事長が23年、私が引き継いで27年、ここに至るまで決して平坦な道のりではなく、波瀾万丈なものでした。そのたびに、たくさんの方々に教えられ、支えられ、助けられてきました。まさに人に恵まれた歩みであったと、とても感慨深いものがあります。



さて、次の50年を見据え、まずは今後10年をどのようにしていくかに思いを巡らせてみると、医療福祉や介護等の既存の枠にとらわれず、健康増進や予防分野でも地域貢献に尽力してまいりたいと存じま

す。現在でも地域イベントへの参加、体操教室の開催などスタッフが地域へ出かけています。ただ、ボランティアでの活動継続への限界も感じており、今後事業化を検討していくことも必要になってくるでしょう。

また、地域でのネットワークを拡大させるために、旧来の病診、病病、病施連携のみならず、自治体、商店街、教育機関など異業種とのコラボレーションにより、幸せに暮らせる街作りの一翼を担っていきたいと考えています。

地域医療構想、地域包括ケアシステムが進み、急性期だけではなく全体の病院病床の再編統合がすすむでしょう。平均寿命はさらに延び人生100年時代が到来します。元気な高齢者が現役で働いてお互い支えていかななくてはなりません。これらに対応していくには、今までの認識や価値観などを根本的に転換するパラダイムシフトが必要です。

牧ヘルスケアグループは、これまで50年間お世話になった地域で幸せに暮らせる街づくりに医療を通して貢献していく所存でございます。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## スポーツ整形外科の専門医が入職しました

スポーツ整形外科部長

**杉本 武** (すぎもと たけし)

【専門】 スポーツ整形外科  
膝関節鏡視下手術  
足関節鏡視下手術

【資格】 日本整形外科学会専門医  
日本スポーツ協会スポーツ医

【趣味】 水泳、サーフィン、サッカー



### Q1 専門分野は？

膝関節では前十字靭帯断裂に対する関節鏡視下（以下鏡視下）靭帯再建術や半月板損傷に対する鏡視下半月板縫合術、軟骨損傷に対する骨軟骨柱移植術や培養自家軟骨移植術など、足関節では外側の前距腓靭帯、踵腓靭帯損傷後の足関節不安定症に対する鏡視下靭帯縫縮術や骨棘切除術、距骨の離断性骨軟骨炎に対する鏡視下骨軟骨片固定術、後方の三角骨障害に対する鏡視下三角骨切除術などを得意としています。

### Q2 手術以外では？

フィールドでも積極的に活動してきたので、保存療法や診断技術も得意としています。特に肉離れの診断と治療、また各種疾患のエコー診断には自信があります。

野球肘や野球肩、腰椎分離症や鼠径部周辺痛症候群（スポーツヘルニア）など、オーバートレーニング（使いすぎ）に起因する疾患に対しても単純に安静とするのではなく、病期に見合った適切なリハビリテーションによりコンディショニングを整えながら治療していくように心掛けています。



### フィールドワーク

2000～2014 セレッソ大阪チームドクター  
2003～ 大阪サッカー協会医事委員  
2006～2013 セレッソ大阪チーフドクター  
2015～2017 U-18～20サッカー日本代表世話人ドクター  
2015～ 日本オリンピック委員会（JOC）強化スタッフ  
2017 FIFA U-20 ワールドカップ帯同ドクター  
2019 東京オリンピック自転車競技マウンテンバイクメディカル統括  
2019～ セレッソ大阪チームドクター



写真提供：FIFA U20W杯@韓国 (FIFA.com)

## 東京オリンピック テスト大会をサポート

2019年10月4日～6日に静岡県伊豆市で開催されました「READYSTEADY TOKYO-自転車競技（マウンテンバイク）」の医療支援事業に、牧整形外科病院より看護師5名、理学療法士4名が参加しました。

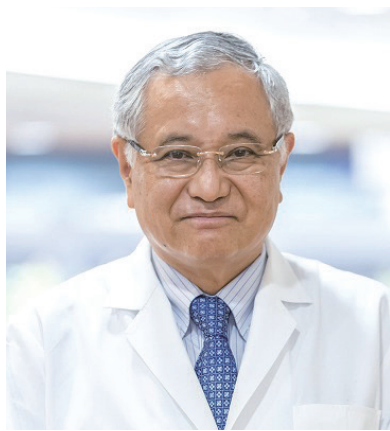
当院、スポーツ整形外科部長の杉本医師がこの競技のメディカル統括を担当していることから今回のご縁に繋がりました。

このような競技活動支援も行い、医療の立場からオリンピックイヤーを盛り上げていきます。



# 心不全における終末期医療とは

牧病院 院長 中谷 武嗣 (なかに たけし)



心不全はしばしば急性増悪をし、今後の治療方針について充分検討されていない状況で、緊急にむずかしい判断が求められることがあります。特に死をタブー視する我が国では、精神的および心理的におこまれる状況になりやすく、多職種の医療者・介護者が関わりながら、患者さんやご家族とともに意思決定することが望ましいと考えられます。

心不全のみならず、患者さんやご家族が望む治療と生き方を事前に対話するアドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning ACP) はとても重要ですが、心不全治療においても治療選択の前段階から終末期までの治療選択の意思決定支援 (preparedness



planning) が推奨されるようになりました。また治療中に、心臓以外の脳を含む諸臓器の機能不全などでその治療目的が達成できないと考えられる場合 (終末期) には、治療の継続について検討すべきで、新たな治療を行わないことも考慮する必要があります。

そこで末期的状況となった場合、治療に関するインフォームドコンセント (説明と同意) では、治療中止についても患者さんやご家族に十分な説明を行ない、検討しておくことが必要となります。末期的状況の判断は多職種チームで検討し、患者さんやご家族 (患者さんの意思が確認できない場合はご家族のみ) に充分説明を行い、治療の中止や新たな治療は行なわないことについて検討することになります。ご家族が治療の継続を希望された場合は、新たな治療を加えることについて医学的な適応がないことを再度説明し、考えていただくようにします。なお、末期状態ではないにも関わらず患者さんやご家族から継続中止の要望があった場合には、患者さんやご家族も含めて多職種チームで協議し、倫理委員会へはかる事を検討します。

今後、心不全治療においても終末期への対応をどのように行うかは我が国の課題であり、検討が続けられています。

## ご意見回答および患者満足度調査結果を掲示しています

牧病院は地下1階 (リハビリテーション室前)、1階 (地域連携室前)、2階3階 (各病棟談話室) にご意見箱を設置し、1階 (地域連携室前) にご意見に対する回答ならびに感謝のお言葉を掲示しています。

また患者満足度調査 (外来/入院) の報告は、外来は1階待合室、入院は各病棟へ掲示しています。

皆さまからいただいたご意見は、今後のより良い病院づくりのための参考にさせていただきます。

これからも貴重なご意見をよろしくお願い致します。

## AEDの設置場所を変更しました

これまで病院内部に設置していたAEDを地域の皆さまにもご利用いただけるように1階 (地域連携室前) に据え付けました。緊急時にはご遠慮なく病院スタッフへお声かけください。



## 消化器外科の臨床経験を生かして 全身からリハビリを診る視点で、回復をお手伝いします

牧リハビリテーション病院 顧問 牧 淳彦(まき あつひこ)



**職歴：**  
国立八日市病院（現東近江総合医療センター）、枚方公済病院、京都大学附属病院、米国メリーランド大学、NIH、北野病院、兵庫県立尼崎総合医療センター

**資格：**  
日本外科学会・日本消化器外科学会 専門医/指導医、  
肝臓専門医 など

2019年5月に牧リハビリテーション病院に入職しました。名前からご想像の通り、清翠会の初代理事長 牧安孝の長男です。東京医科歯科大学を卒業してから40年間、一貫して消化器外科に携わってきました。途中2年間はアメリカのボルティモアという町で基礎研究に従事しました。専門は肝臓外科ですが、それ以外にも腹部臓器の手術を数多く手がけてきました。牧リハ病院に入職するまでは兵庫県立尼崎総合医療センターで働いていました。救急車が1日に30台以上やってくる忙しい病院でしたが、多くの仲間  
に助けられて定年退職前日までメスを握り続けました。

今までは、手術を待っておられる多くの患者さんに滞りなく手術をするために、術後落ち着いた状態になれば心ならずも追い立てるように退院していただいております。手術を無事に乗り切っても、そのあと日常生活の回復や復職までの道のりがまだまだ遠いことは実感していながらも、急を要する患者さんを優先せざるを得ず心苦しい思いもしていました。

さて、昨年5月からは打って変わって、手術後などの患者さんの回復をお手伝いする事になりました。リハビリテーションの主な対象となる整形疾患や神経疾患は元からの専門ではありませんが、消化器外科という全身を診る科での臨床経験を生かして、全身からリハビリを見るという視点で取り組んでいこうと考えています。

## 急性期の知識・経験を活かしつつ、 回復期や介護の追究で患者さんの自立をサポート

牧リハビリテーション病院 副院長 泰永 募(やすなが つる)



**職歴：**  
京都大学附属病院、浜松労災病院、大津赤十字病院、京都市身体障害者リハビリテーションセンター、済生会野江病院

**資格：**  
日本整形外科学会専門医、  
日本リウマチ学会専門医、  
日本リハビリテーション医学会認定臨床医

2019年8月に牧リハビリテーション病院に副院長として着任した、泰永 募です。  
1984年に京都大学を卒業し、整形外科教室に入局しました。整形外科は、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを対象とし、また脊椎から四肢にかけて、つまり頭部胸部腹部以外の体すべてを診なければなりません。とてもやりがいのある診療科と考え、専攻しました。大学病院で1年、浜松労災病院で2年、大津赤十字病院で9年、京都市身体障害者リハビリテーションセンター附属病院で3年、整形外科全般を学びました。その後、済生会野江病院に部長として、1999年から20年間勤務しました。京都大学では伝統的に脊椎と人工関節を重要領域として継承しており、私もそれらの分野を得意としてきました。そして永年、手術を中心とした急性期医療に明け暮れていました。

しかしながら数年前に、(個人的な話で恐縮ですが) 私の両親の入院・介護を経験し、「急性期医療だけでは患者やその家族は幸せになれない。むしろ、その後の方が大切だ。」と、初めて思い知らされました。

ご存じのように、高齢化の道を突き進んでいく現代日本で、回復期リハビリテーションの役割は極めて大きく、患者さんの自立をどのようにサポートするかが大切になります。そして、回復期を担当する医師として、医療政策だけでなく介護政策にも精通している必要があります。

さて、回復期リハビリテーションの整形外科対象疾患は大腿骨骨折・脊椎骨折・人工関節術後・脊椎術後などであり、私の得意分野です。今まで急性期の知識・経験を活かしつつ、新たに回復期や介護の勉強をして、患者さんがご自宅に帰られるお手伝いをさせていただく所存です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



**第9回 家族会開催のお知らせ**

**かるがもの会**

皆様の参加をお待ちしています。

北盛館という愛称の中で、お隣で支え合い、協力し合いながら利用者様の生活を営む。その気持ちを込め、「かるがもの会」と名付けました。

**「みんなでクリスマスを楽しもう！」**

開催場所：おとしよりすこやかセンター北部館 1階 研修室  
 開催日時：2019年12月7日(土) 14:00~16:00  
 内容：紙で作ろう！クリスマスリース作成

- ・家族様と利用者様と一緒に参加していただけます。
- ・参加費は不要です。お気軽にお越しください。

先着20名様。先着人数に達し次第、締め切らせて頂きます。  
 なお人数の都合上、一家族お二人様まででお申し込み致します。  
 事前予約をお願い致します。締切 11月30日(水)

問合せ先 TEL 06-6955-4865 FAX 06-6955-1625  
 おとしよりすこやかセンター北部館 担当：支援相談員

## ご利用者・ご家族・施設をつなぐ 「かるがもの会」

支援相談課 主任 岡田 恵美子 (おかだ えみこ)

おとしよりすこやかセンター北部館では、2015年より家族会「かるがもの会」を開催しています。年2回の開催時には、多くのご利用者と共にご家族にもご参加いただいています。

「かるがもの会」という名前には、かるがもの親子が仲良く歩く姿から、北部館のご利用者、ご家族、職員をひとつの家族と捉え、全員で支え合い、協力し合いながらご利用者の生活を守り抜く、という気持ちが込められています。当初はご家族のみを対象としていた家族会でしたが、徐々に「かるがもの会」の名称通り、ご利用者とご家族皆様で“一緒に楽しんでいただける企画”を、と考えるようになりました。これまでクリスマスリース、ケーキ、ポチ袋、フクロウの置物、牛乳パックを再生したトレイなどの作成に取り組み、ご家族からは「親と一緒に物作りをする機会はなかなかないので、とても楽しい時間を過ごせました」「父の楽しそうな笑顔に感激しました」等のお声をいただいています。

また、外出援助やフロアリハビリ等の取り組み内容について紹介させていただいた際には、「職員の方がどのように関わってくれているのか良くわかった」「職員の方のガッツを感じた」等の感想をいただき、私たち職員にとっても非常に嬉しく、また次の新たなチャレンジへと繋がるかけがえない時間となっています。

家族会を通じて、ご利用者とご家族、そして職員の距離がぐっと縮まり、温かい心の交流が実現できていると感じます。

家族団欒の場である「かるがもの会」に、ぜひ皆様お越しください！

### ハンドマッサージ



クリスマスリース



クリスマスケーキ

### クリスマス

#### 作品集



ポチ袋



牛乳パックトレイ



フクロウの置物



フクロウの置物



## 秋のイベント!!

### ～『まきオリンピック』『ハロウィンカフェ』～

まきデイサービスセンター 生活相談員 山本 貴一(やまもと きいち)

こんにちは。まきデイサービスセンターは、牧ヘルスケアグループで唯一のデイサービスセンターです。当センターでは、年間行事に併せて盛りだくさんな企画を用意しており、月に1回『日曜行事』と銘打ちまして様々なイベントを開催しています。今回は、10月度開催の『スポーツフェスティバル・まきオリンピック』と『ハロウィンカフェ』についてご紹介いたします。

『まきオリンピック』ではご利用者が赤組・白組に分かれ、午前の部・午後の部とさまざまな競技を楽しまれました。シッティングバレー、射撃、トライアスロンリレーなど、皆様オリンピック選手のような意気込みで各競技に取り組まれていました。どの競技も歓声で大変盛り上がり、全競技終了後、優勝チームには『金メダル』、2位のチームには『銀メダル』の授与を行いました。



『ハロウィンカフェ』ではカフェ会場を設け、ハロウィンのお祭りにちなんで飾り付けを施し、音楽を流しました。私たちはお飲み物とケーキを提供し、皆様にハロウィンの雰囲気味わってもらいながら、楽しい時間を過ごしていただきました。



まきデイサービスセンターでは、これからも季節に応じたさまざまなイベントを企画し、皆様に少しでも喜んでいただけるよう取り組んでまいります。

# 「健康教室」開催のお知らせ

**1月25日(土) 午後1時30分より**  
**「脱腸(ソケイヘルニア)にご注意!」**

講師: 外科 横井川 規巨医師  
 場所: 牧病院 4階研修室

**2月22日(土) 午後1時30分より**  
**「飲み残しのお薬、おうちに残っていませんか?」**

講師: 薬剤科  
 場所: 牧病院 4階研修室

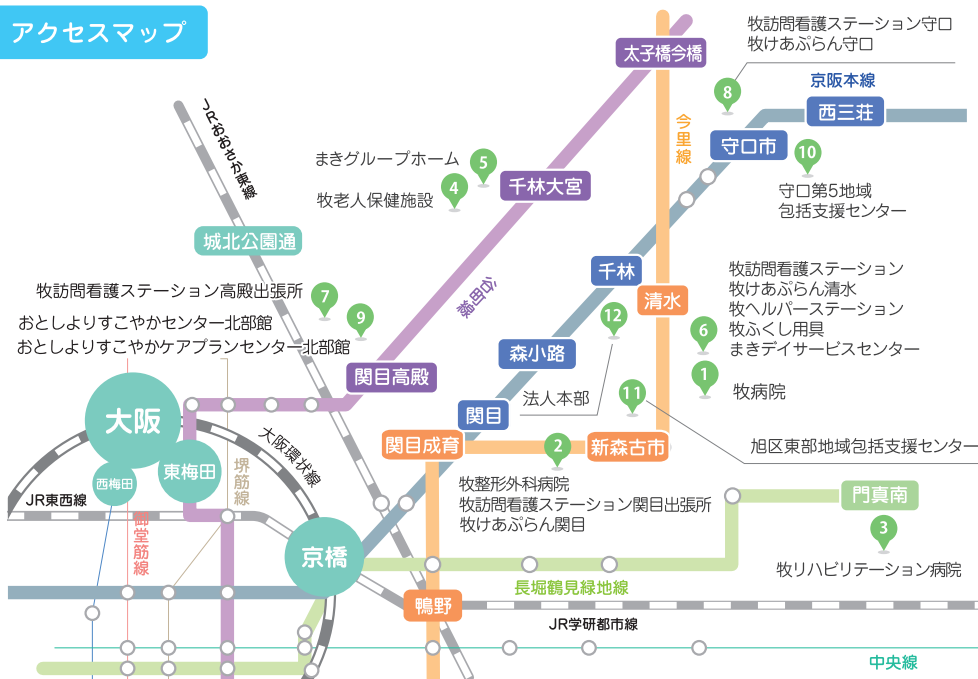
**3月28日(土) 午後1時30分より**  
**「脳ドックのすすめ」**

講師: 放射線科  
 場所: 牧病院 4階研修室

※いずれも事前の申し込みは必要ありません。ご参加お待ちしております。



## アクセスマップ



## 牧ヘルスケアグループ 医療法人清翠会

### 私たちの理念

# Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生を支えるために

### 私たちの約束

#### 『Professional』

医療人としての誇りと謙虚さをもち、日々研鑽を重ねます。

#### 『Heart』

あたたかい想いやりの心とともに、あなたに寄り添います。

#### 『Team』

和をもった信頼されるチームで、あなたを支えます。

- 1 牧病院  
 〒535-0022 大阪市旭区新森7-10-28  
 TEL: 06-6953-0120  
 牧病院デイケアセンター  
 TEL: 06-6953-1881  
 牧病院訪問リハビリテーション  
 TEL: 070-5043-0494
- 2 牧整形外科病院  
 〒536-0008 大阪市城東区関目6-15-30  
 TEL: 06-6786-6200  
 牧訪問看護ステーション関目出張所  
 TEL: 06-6786-6231  
 牧けあふらん関目  
 TEL: 06-6786-6230
- 3 牧リハビリテーション病院  
 〒571-0015 大阪府門真市三ツ島3-6-34  
 TEL: 072-887-0010  
 牧リハビリテーション病院  
 訪問リハビリテーション門真  
 TEL: 072-887-0010  
 牧リハビリテーション病院デイケア門真  
 TEL: 072-887-0050
- 4 牧老人保健施設  
 〒535-0004 大阪市旭区生江2-15-14  
 TEL: 06-6929-0300
- 5 まきグループホーム  
 〒535-0004 大阪市旭区生江2-14-24  
 TEL: 06-6929-5355
- 6 まきデイサービスセンター  
 〒535-0021 大阪市旭区清水4-2-22  
 TEL: 06-6953-1506  
 牧訪問看護ステーション  
 TEL: 06-6953-1222  
 牧ヘルパーステーション  
 TEL: 06-6953-1107  
 牧けあふらん清水  
 TEL: 06-6953-1235  
 牧ふくし用具  
 TEL: 06-6958-1030
- 7 牧訪問看護ステーション高殿出張所  
 〒535-0031 大阪市旭区高殿6-18-41-107  
 TEL: 06-4254-6660
- 8 牧訪問看護ステーション守口  
 〒570-0028 大阪府守口市本町1-7-21-102  
 TEL: 06-6991-5556  
 牧けあふらん守口  
 TEL: 06-6991-5557
- 9 大阪市立介護老人保健施設  
 おとしよりすこやかセンター北部館  
 〒535-0031 大阪市旭区高殿6-14-41  
 TEL: 06-6955-4865  
 おとしよりすこやかケアプラザセンター北部館  
 TEL: 06-6955-7511
- 10 守口第5地域包括支援センター  
 〒570-0033 大阪府守口市大宮通1-13-7  
 TEL: 06-6992-1180
- 11 旭区東部地域包括支援センター  
 〒535-0022 大阪市旭区新森4-27-13  
 TEL: 06-4254-3336
- 12 法人本部  
 〒535-0021 大阪市旭区清水2-11-14  
 TEL: 06-6953-0190